



サステナビリティマネジメント

指標と目標・実績

当社は、2030年度に向けたESGビジョン「PIOLAX ESG Vision 2030」に基づいて2023年度の目標を設定し、活動を実施しました。未達成となった項目は、2024年度ESG活動目標および第8期環境中期目標に反映させ、継続して取り組みを進めていきます。

ESG活動目標

マテリアリティ	重点活動項目	KPI	2023年度 目標	2023年度 実績		2024年度 目標	
エネルギー 大気への排出 廃棄物	省エネへの徹底した取り組み カーボンニュートラルに向けた活動	間接消費エネルギー (電気)	温室効果ガス： CO <sub>2</sub> 排出量の削減	13%削減(2019年度比)	38%削減	○	17%削減(2019年度比)
			原単位当たりの エネルギー消費量削減	1%削減(2022年度比)	3.2%削減	○	2%削減(2022年度比)
	廃棄物削減への取り組み	原単位当たりの総廃棄物排出量削減	2%削減(2022年度比)	0.3%増加	×	4%削減(2022年度比)	
	資源の有効活用	リサイクル率の向上	80%(2022年度比)	81%	○	80%(2022年度比)	
雇用 労働安全衛生 多様性・機会均等	健康経営の推進	従業員エンゲージメントのスコア化	スコア化検討	コンディションサーベイ実施	○	指標の選定	
	ワークライフバランス	時間外労働の削減		10%削減(前年度比)	17%増加	×	10%削減(前年度比)
		有休取得率の向上		60%	71%	○	前年度実績以上
		女性育児休業取得率		100%	100%	○	100%
		男性育児休業取得率		前年度実績以上	60%	○	前年度実績以上
		重大災害件数		0件	0件	○	0件
	ダイバーシティ	女性管理職比率		5%以上	5.2%	○	前年度実績以上
		女性新卒採用比率		30%以上	22.7%	×	前年度実績以上
		外国籍採用数		2名以上	1名	×	前年度実績以上
		障がい者雇用率		2.3%以上	2.34%	○	法定(2.50%)以上

対象範囲：CO<sub>2</sub>排出量の削減はパイオラックスグループ、原単位当たりのエネルギー消費量削減・原単位当たりの廃棄物削減・リサイクル率の向上はパイオラックス+国内グループ会社、そのほかはパイオラックス単体



サステナビリティマネジメント

マテリアリティ	重点活動項目	KPI	2023年度 目標	2023年度 実績		2024年度 目標
雇用 労働安全衛生 多様性・機会均等	人財育成	人財育成向上	教育体制整備／質向上	階層別教育拡充	○	着実な遂行
	人権の尊重	パイオラックス人権方針の教育実施	実施	実施	○	実施
		ハラスメント防止教育の実施	実施	85%	○	実施
	CSR調達の向上	取引先CSR遵守状況の確認 (CSRガイドライン合意書回収率)	100%	100%	○	100%
		取引先ESG経営推進サポート	活動調査の実施	100%	○	活動調査の実施
		紛争鉱物問題への対応(調査回収率)	95%以上	90%	×	95%以上
ガバナンス コンプライアンス	コーポレートガバナンス	コーポレートガバナンス・コード対応	CGコード対応の強化	全原則遵守(コンプライ)の継続	○	CGコード対応の強化
		ステークホルダー・エンゲージメントの強化	適時開示の実施	実施	○	適時開示の実施
		コンプライアンス体制の強化	社内教育実施	実施 1,456名、延べ364時間	○	社内教育実施
	リスクマネジメント	情報セキュリティの強化	メール訓練実施、 EDRシステム活用拡大	実施	○	メール訓練実施、 EDRシステム活用拡大
		災害対策の体制整備	マニュアルの整備	実施	○	マニュアルの整備

対象範囲：コンプライアンス体制の強化はパイオラックスグループ、そのほかはパイオラックス単体